

基本理念、将来像、基本目標、個別目標一覧

基本理念 1 (ひと=区民一人ひとり)

自ら考え行動する区民が、まちの未来を拓きます

区民が安定した暮らしを営み、個人として尊重されることを基本とし、区民としての誇りと責任を持ち、自らが考え、行動することで、大田区の未来をつくります。

基本理念 2 (まち=都市)

安心と魅力をそなえた都市を次世代へと贈ります

区民の生活拠点として誰もが安心して暮らせるまちとするとともに、活力あふれる経済活動、多彩な交流が生まれる豊かなまちをつくり、次の世代へとつなげていきます。

基本理念 3 (つながり=地域や区民相互の関係)

人と人との思いやりの心でつながり、 優しさあふれるまちをつくります

人は、人とのつながりの中から、生きる喜びを見出し、共に支えあうことができます。地域を構成する様々な人々の相互の連携が、やさしさを広げるまちをつくります。

将来像 地域力が区民の暮らしを支え、未来へ躍動する国際都市 おおた

社会環境の急速な変化や価値観の多様化など、将来を見通すことが難しい状況の中で、これからの大田区を支え、未来につなげていく力の源は、区民一人ひとりの力です。この力を「地域力」として発揮することで、誰もが暮らしやすい社会を実現します。また、人・もの・技術を世界に送り出している大田区が、国際都市として都市と人々をつなぐ役割を積極的に担っていく姿を、大田区の将来像として掲げます。

第 2 専門部会

基本目標 1 生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち

少子高齢社会を見据え、区民、団体、事業者がそれぞれの特性を発揮し、区が支援・コーディネートすることによって、区民の幸せな生活を守り、相互に理解、協力できる安心と支えあいのまちをつくります。

子どもたちを地域の宝として尊重し、産み育てやすい環境を整え、健やかな成長を見守ります。併せて、未来を支える子どものために良好な教育環境をつくります。

すべての区民の健康を支える仕組みづくりや、障がいなどのハンディキャップを有する区民への支援を行い、生きがいと学ぶ意欲を大切にすることによって、誰もが生涯を通じていきいきと過ごせるまちを実現します。高齢者が住みなれた地域で、健康な心身を保ち尊厳を持って暮らせるまちをつくります。



第 1 専門部会

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市

これまで築き上げてきた都市環境や地域産業の蓄積を土台に、快適な暮らしと創造力あふれる産業が調和する豊かな都市空間を形成し、未来に向けて輝き続けるまちをつくります。

また、豊かな水辺環境、再拡張・国際化する羽田空港や、高度産業技術の集積などのまちの魅力によって、区内外から多数の来訪者が集まり、多彩な交流活動が行われる活力あるまちを実現します。



第 3 専門部会

基本目標 3 地域力と行政の連携がつくる人と地球にやさしいまち

地域は、区民一人ひとりによって構成され、支えられています。人やまちへの思いやりの心と規範意識を持ち、一人ひとりの力を「地域力」として発揮し、人と地球にやさしいまちをつくります。

区は、地域力を支え、さらに大きな力へと結びつける役割を積極的に担います。



個別目標1 - 1 未来を拓き^{ひら}地域を担う子どもを、みんなで育む

まちにします

未来を担う子どもの心身ともに健やかな成長を願い、それを支える福祉・保健・医療などの体制を充実させます。同時に、安心して出産できる環境や子どもと保護者のニーズに合わせた良好な育成環境の整備を進めます。地域を構成するすべての人々と区がそれぞれの役割を果たし、手を携えて子どもの成長と子育て世代を支援します。

学校では、子どもたちがのびのびと成長できる教育環境を整えます。地域の特性や多様性を尊重し、子どもたちが学ぶ喜びを知り、社会性と生きる力を身につける学校教育を進めるとともに、学校、地域、家庭などが力を合わせて子どもたちの学びを支え、教育力を高めます。

個別目標1 - 2 誰もが自分らしく、健康で生きがいをもって暮らせるまちをつくりま

元気でいきいきとした生活の基盤である心とからだの健康づくりや、安心して暮らせる生活環境の確保のために、医療機関や事業者、地域、行政の連携を進めます。

誰もが自立した生活を営み、就労や社会参加ができる環境づくりを進めるとともに、障がいなどの有無、年齢、性別、国籍にかかわらず、安全に移動し、生活できるユニバーサルデザインの視点に立った優しいまちをつくりま

す。障がい者が自分らしく安心して暮らせるように、地域での生活を見守る仕組みや支える意識を育てます。

また、誰もが生涯をはつらつと生きるために、学習やスポーツ、文化など多様な活動の機会や環境を確保し、地域における自らの役割と生きがいを実感できる仕組みをつくりま

個別目標1 - 3 高齢者が住み慣れた地域で、安心して暮らせるまちをつくりま

す。高齢者がいつまでも健康な心身を保ち、長い人生で培った経験、技術や社会参加の意欲を地域で活かし、生きがいと活動の場を持てるまちをつくりま

す。また、生活に支えが必要となったときに、いつまでも住み慣れたまちに住み続けることができるよう、質の高い介護・医療体制や権利擁護の仕組み、家族への支援を充実させるとともに、地域ぐるみで高齢者を見守る、安らぎのまちをつくりま

個別目標2 - 1 水と緑を大切に、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現しま

す。大田区の中心である大森と蒲田、そして未来の大田区の中核を担う羽田空港周辺については、個性と魅力にあふれたにぎわいあるまちづくりを進めます。区内の各地域においては、区民、事業者、区などが一体となり、将来の地域のあり方について考え、実践する新たなまちづくりに取り組みま

す。水辺や緑など身近な自然環境と触れ合う場を守り育てるとともに、景観や東京全体の環境にも配慮したまちづくりを行います。さらに、アートやスポーツをまちづくりに取り入れるなど、人々に潤いと活力を与える取り組みを進めます。

防犯・防災対策に配慮し、高齢者・障がい者・外国人など誰でも安心して移動できるまちとなるよう、交通環境の改善に努め、安全で快適な暮らしを支えるまちづくりを進めます。

そして、水と緑、ものづくりの集積、羽田空港の立地などを活かした集客・観光施策に取り組みま

個別目標2 - 2 首都空港「羽田」と臨海部が世界への扉を開く、国際交流拠点都市を創りま

す。首都の玄関口である羽田空港を大田区の誇れる財産として活かし、アジアをはじめとした諸外国との国際交流を一層進めるとともに、空港への交通アクセスの充実を図りま

す。また、空港用地外となる跡地については、区民の意向を踏まえ、地域と空港とが共生できる視点からの有効利用を推進します。さらに、空港機能を十分に活用した新しい産業との連携を進め、おおたブランドの発信拠点としての展開を進めます。

臨海部、多摩川・呑川等の水辺空間の利活用を促進し、区民や訪れる人々が憩い楽しめる空間の整備を図りま

す。また、水辺を活かした水上交通（舟運など）についての検討を進めます。大田区を訪れ、暮らす多様な文化を持つ外国の人々も共に快適に過ごすことのできるまちづくりを進めます。

個別目標2 - 3 ものづくりから未来へ、独自の産業と都市文化を創造しま

す。ものづくりにおける高度な技術・技能を有する企業が集まるという地域特性を維持し、さらに発展していくため、人材の育成・確保や新たなビジネス創造に向けたコーディネート（仲介・支援など）に取り組みま

す。また、国際化する羽田空港の立地を活かし、ものづくり創造都市としてのおおたブランドを世界へと発信しま

す。高齢社会の進む中、地域に身近で快適な暮らしを支える商店街などの商業機能の活性化を図りま

す。区内外の人々が集まる地区においては、国際都市にふさわしい、にぎわいのある拠点を整備します。暮らしと産業が接する職住一体のまちとして、ものづくりや商業、観光などの多様な産業が地域の魅力をさらに高めるまちをつくりま

個別目標3 - 1 地域力を活かし、区民主体の人にやさしいまちを実現しま

す。区民一人ひとりが抱くわがまちへの思いを行動に変える力。この区民の力と自治会・町会や事業者、団体・NPOなどが有する実績や専門性を地域力として結集することで、安全・安心の暮らしやすいまちをつくりま

す。また、地域の歴史や文化、自然などの地域資源を地域力と結びつけることで、魅力あふれるまちをつくりま

個別目標3 - 2 私たち区民が、良好な環境と経済活動が両立する持続可能なまちをつくる担い手です

ものづくりをはじめとする大田区の特徴を活かし、環境への取り組みと経済活動が両立する持続可能なまちをつくりま

す。そのためには、区民や自治会・町会、事業者、団体・NPO、区など地域を構成する全ての主体が、地球温暖化などの環境問題に対する認識を共有し、それぞれの責任と役割を担います。特に省エネルギーの推進や自然エネルギーの積極的な活用のほか、産業活動や日々の生活における廃棄物の発生抑制の推進など、限りある資源を大切かつ有効に活用する資源循環型のまちづくりに取り組みま

す。また、大田区の地域資源である水辺環境を守り、緑化を積極的に推進するなど、水と緑の調和したまちをつくりま

個別目標3 - 3 区は、効率的で活力ある区政を実現し、地域との連携・協働を進めます

区民に対する説明責任の徹底、区政情報の効果的な発信や、規律的・効率的な行財政運営の推進など、区政の透明性と効率性を高めま

す。また、区は、区民に最も身近な自律した地方政府である基礎自治体として、多くの区民が参画しやすい、活力ある区政を展開しま

す。さらに地域と行政が連携・協働することで、区民自らが地域の課題を解決できる仕組みをつくりま